

商品全体概要（代替コース・杵島岳トレッキング）

コース・所用時間		必須事項、説明・ガイド内容
事前 受付	阿蘇火山博物館	<ul style="list-style-type: none"> □ 事前準備と持ち物 □ 全体ブリーフィング □ 誓約書記入・内容確認
始	阿蘇火山博物館	<ul style="list-style-type: none"> □ 10分 □ *ブリーフィングの徹底 <ul style="list-style-type: none"> □ 阿蘇全体の概要について □ 阿蘇カルデラの成り立ちについて □ 杵島岳についての概要の説明 □ 全体の行程についての説明
	移動5分	
1	草泊まり前	<ul style="list-style-type: none"> □ 10分 □ *牧野と人の暮らし <ul style="list-style-type: none"> □ 草泊まりについての説明 → 昔は採草作業が行われていたことについて □ 採草した草を使った農業について
2	中岳方面との分岐 杵島岳登山口	<ul style="list-style-type: none"> □ 10分 □ *中岳の活動と杵島岳の生態系 <ul style="list-style-type: none"> □ 中岳を眺めながら山岳信仰などについて説明 □ 阿蘇山上に生息する動物や植物について
3	杵島岳登山口 (旧スキー場分岐)	<ul style="list-style-type: none"> □ 35分 □ *野焼きと植物 <ul style="list-style-type: none"> □ ススキの草原を見ながら野焼きについての説明 □ 黄スミレなど大陸系依存植物についての説明
4	杵島岳山頂	<ul style="list-style-type: none"> □ 15分 □ *記念写真タイム <ul style="list-style-type: none"> □ 山頂で古池火口群、古坊中・山岳信仰について説明 □ お振る舞いとして温かい飲み物、地場産のお菓子
5	お鉢巡り・火口底	<ul style="list-style-type: none"> □ 30分 □ *杵島岳お鉢巡り～火口底 <ul style="list-style-type: none"> □ 阿蘇谷の展望を眺めながら杵島岳のお鉢巡り □ お鉢巡りの後に火口底見学 □ *お鉢巡り～火口底見学の際の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・両手を空ける。荷物は全てザックに入れる。カメラは肩から下げないように。 ・ザックは体に密着させる。 ・帽子などが風で飛ばされないように、しっかりと被る。あごひもを締める。 ・出来る限り稜線の中央を歩く。絶対に縁に寄らない。 ・危険箇所を過ぎるまで景色は眺めない。
	移動30分	
終	阿蘇火山博物館	<ul style="list-style-type: none"> □ 5分 □ 「阿蘇山」のお土産（キーホルダー）を渡して終了
終了 報告	阿蘇火山博物館	<ul style="list-style-type: none"> □ 無事終了した旨を阿蘇火山博物館に報告

販売に関する詳細事項について（杵島岳トレッキング）

項目	確定事項
集合・解散場所	阿蘇火山博物館
料金	税込み11,000円/人
料金に含まれるもの	杵島岳ガイド料・お鉢巡り・火口底見学含む
問い合わせ	阿蘇温泉観光旅館協同組合（0967-32-3330）
所要時間	約2時間20分（ブリーフィング～解散で120分）
最少催行人数	2人
最大受入人数	10人※6人以上の場合ガイド3人体制で対応
開始時間	10時～,13時～
手仕舞い日時	2週間前迄に要予約
キャンセルポリシー	2週間前から100%
その他 （注意事項など）	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で、トレッキングレベルの健脚がある大人(16歳以上)のみが対象。 ・ツアー参加者は健康状態などに関する誓約書(重要事項説明書)への同意が必須 ※予約時に重要事項説明書の内容を事前に確認できる状態を作ることとする。 ・動きやすい靴や服装での参加
雨天時対応	小雨天決行/状況により火口まで降りれない可能性もあり
規制時対応（噴火警戒レベル）	噴火警戒レベル2までは実施可能
規制時対応（ガス）	—

販売体制について

販売体制としては、阿蘇温泉観光旅館協同組合を主体とし、関係各所が協力する形での体制として、合意した。

